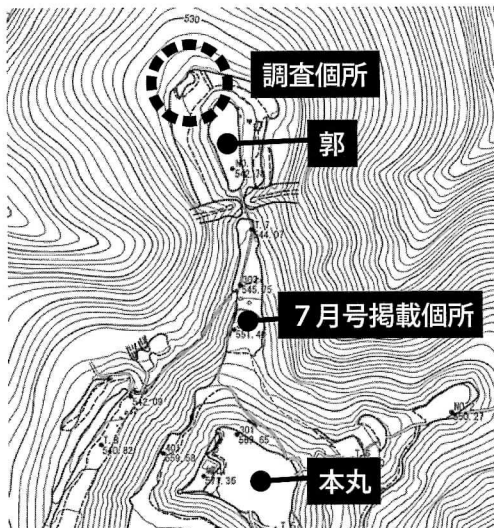


Report

勝山城の調査を終えて

—北尾根郭調査編—



この調査の結果、長さ約8m、深さ約2mの堀が検出されました。堀は地山を掘り抜いて造られており、その形状から箱堀と推測されます。堀を覆う土はほぼ同質の土であったことから、比較的短期間で埋まったことが伺えます。こ

う月は、北尾根先端の郭の調査成果についてご紹介したいと思います。北尾根先の郭は、従来お茶壺蔵が存在したと考えられてきた地点で、大沢見張り台とも呼ばれます。この場所は、平成元年に一度調査を行っていますが、この際には遺構・遺物は確認されませんでした。この郭は、一段下がった平地が帯状に回りを取り囲んでおり、この形式は堀を巡らせていた跡ではないかと推測されたため、平成19年度に平地部分の調査を実施しました。



■上：今回の調査箇所。図の中ほどには、広報する7月号で報告した調査箇所があります。
■下：今回の調査によって発見された堀の跡。非常に深いもので、大人の人が入っても背が足りないほどの深さです。

した特徴は北尾根の付根部で確認されている堀（7月号に掲載）によく似ており、2つの堀は、同時期的のものであるということが、人為的に埋められたということが考えられ、縄張（城郭の設計）から推測して、少なくとも浅野氏以前の遺構ではないかと考えられます。また、この堀の南に堅堀、さらに南には北尾根の付根部の堀があり、これらの堀は北から本丸への攻めに対して厳重な守りを果たしていたことが考えられます。

増田誠美術館

増田誠美術館企画展「季節の情景 ー秋から冬へ」

フランス各地の風景を描いた作品から、秋から冬にかけての季節をテーマにした油彩画・スケッチを展示しています。ぜひ、ご覧ください。

会 期：平成23年2月27日(日)まで
開館時間：午前9時～午後4時30分
会 場：増田誠美術館(ふるさと会館2階)



作品介绍

増田画伯が訪れた港町ディエープの雪景色を描いた作品。

作品介绍『ノルマンディー・ディエープ』(1969年)油彩画20号